

三宅島非帰島住民の生活状況についてのアンケート調査

(在京島民 114 世帯配付・48 世帯回収：回収率 42.1%)

(集計結果)

平成 21 年 1 月

三宅島ふるさと再生ネットワーク

A. あなたのご自身のことについて

1. 年齢 () 歳

- 30代 3人 (6.2%)
- 40代 1人 (2.1%)
- 50代 6人 (12.5%)
- 60代 6人 (12.5%)
- 70代 15人 (31.2%)
- 80代 13人 (27.1%)
- 90代 2人 (4.2%)

※年齢については、回答者の約7割が60歳以上である。

2. 性別 1. 男 25人 (52.1%) 2. 女 21人 (43.8%) 無回答 2人 (4.2%)

※性別については、回答者の約5割が男性である。

3. 現在、一緒に住んでいるご家族の方は、誰ですか。

- 1. 配偶者 22人 (45.8%) 2. 子ども 14人 (29.2%) 3. 父 0人 (0%)
- 4. 母 4人 (8.3%) 5. 祖父 0人 (0%) 6. 祖母 0人 (0%) 7. 孫 0人 (0%)
- 8. 一人暮らし 13人 (27.1%)
- 9. その他 4人 (8.3%) (介護施設に入居、娘の配偶者と同居 等)

※現在の同居家族員については、回答者の5割弱が、配偶者と暮らしている。また、3割弱が子供と暮らしており、一人暮らしも3割弱である。

4. 現在、別居して暮らしているご家族の方は、いますか。

- 1. いる 23人 (47.9%) 2. いない 19人 (39.6%) 無回答 6人 (12.5%)

※別居家族員については、回答者の5割弱に別居している家族員がいる。

1. いると答えた方のみお答えください。それは、誰ですか。

(あてはまるものに○を付け、また () に人数を記入してください)

- 1. 配偶者 7人 (14.6%) 2. 子ども 13人 (27.1%) 3. 父 2人 (4.2%)
- 4. 母 4人 (8.3%) 5. 祖父 0人 (0%) 6. 祖母 0人 (0%) 7. 孫 2人 (4.2%)

※別居家族員の内訳については、3割弱が、子供であり、また、1割強が配偶者である。

5. 避難前の島での主な仕事は（あてはまるものを一つだけ選んで○を付けてください）

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 自営業 15人 (31.2%) | 2. 会社員など 5人 (10.4%) |
| 3. 公務員 3人 (6.2%) | 4. 無職 20人 (41.7%) |
| 5. その他 3人 (6.2%) (具体的に：パート・アルバイト、依託員、団体職員) | |

※避難前の職業については、回答者の約4割が無職であり、約3割が自営業、会社員などが約1割である。

6. 現在の主な仕事は（あてはまるものを一つだけ選んで○を付けてください）

- | | | |
|--------------------------------|---------------------|----------------|
| 1. 自営業 5人 (10.4%) | 2. 会社員など 6人 (12.5%) | 3. 公務員 0人 (0%) |
| 4. 無職 32人 (66.7%) | | |
| 5. その他 1人 (2.1%) (具体的に：財団法人職員) | | |
| 無回答 4人 (8.3%) | | |

※現在の職業については、回答者の7割弱が無職であり、自営業、会社員などがそれぞれ約1割である。

ちなみに、避難前は、自営業であった回答者15人のうち、現在も、自営業を続けているのが、5人（約3割）で、8人（5割強）が現在、無職、1人が現在、会社員などである。

7. 避難前に島で居住していた地区

（あてはまるものを一つだけ選んで○を付けてください）

- | | | |
|----------------------------|------------------------------|-------------------|
| 1. 神着 11世帯 (22.9%) | 2. 伊豆 0世帯 (0%) | 3. 伊ヶ谷 4世帯 (8.3%) |
| 4. 阿古 (高濃度地区) 7世帯 (14.6%) | 5. 阿古 (高濃度地区以外) 3世帯 (6.2%) | |
| 6. 坪田 (高濃度地区) 10世帯 (20.8%) | 7. 坪田 (高濃度地区以外) 11世帯 (22.9%) | |
| 無回答 2世帯 (4.2%) | | |

※避難前の居住地については、坪田（高濃度地区以外）と坪田高濃度地区に居住していた世帯が、それぞれ、約2割、阿古高濃度地区が1割強である。

8. 現在居住している都道府県・市区町村と住宅について具体的にご記入ください。また、都道府県と市区町村のうち、あてはまるものに○をつけてください。

- | |
|--|
| (1) 現在のご住所 _____ 都・道・府・県 _____ 市・区・町・村 |
| ・東京都内 43世帯 (89.6%) |
| 内訳：府中市 6世帯 (12.5%) 八王子市 5世帯 (10.4%) 大田区 4世帯 (8.3%) |
| 北区 4世帯 (8.3%) 練馬区 4世帯 (8.3%) 江東区 2世帯 (4.2%) |
| 港区 2世帯 (4.2%) 板橋区 2世帯 (4.2%) |
| 杉並区・世田谷区・中央区・豊島区・墨田区・三鷹市・町田市・調布市・ |
| 東村山市・武蔵村山市・大島町 各1世帯 (2.1%) |
| 区市町村不明 3世帯 (6.2%) |
| ・東京都外：神奈川県横浜市・千葉市四街道市 各1世帯 (2.1%) |

※現在の居住地については、回答世帯の9割弱が東京都内である。

9. 避難前の島での住宅は（あてはまるものを一つだけ選んで○を付けてください）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 持ち家 36世帯 (75.0%) | 2. 村営住宅 4世帯 (8.3%) |
| 3. 社宅や公務員住宅 1世帯 (2.1%) | 4. 借家 5世帯 (10.4%) |
| 5. その他 0世帯 (0%) | 無回答 2世帯 (4.2%) |

※避難前の住宅については、4分の3が、持ち家で、1割が借家である。

10. 現在の住宅は（あてはまるものを一つだけ選んで○を付けてください）

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------|
| 1. 持ち家 14世帯 (29.1%) | 2. 都道府県営住宅 24世帯 (50.0%) |
| 3. 市区町村営住宅 0世帯 (0%) | 4. 公団住宅 1世帯 (2.1%) |
| 5. 社宅や公務員住宅 1世帯 (2.1%) | 6. 借家 3世帯 (6.2%) |
| 7. その他 3世帯 (6.2%) (介護施設、親の家、親族の持ち家 等) | 無回答 2世帯 (4.2%) |

※現在の住宅については、公営住宅（都道府県営住宅・市区町村営住宅・公団住宅）が、25世帯（52.1%）で5約割である。また、持ち家が、3割弱である。

ちなみに、避難前に持ち家に居住していた36世帯のうち、現在、公営住宅に居住しているのが、19世帯（52.8%）で約5割、また、持ち家が、11世帯（30.6%）で約3割である。

B. 現在の生活状況

11. 現在のご家族の収入の有無についてお尋ねします。
（あてはまるものすべてを選んで○をつけてください）

11-1 収入のある方

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 給与 10世帯 (20.8%) | 2. 年金 31世帯 (64.6%) |
| 3. 生活保護 1世帯 (2.1%) | 4. 家賃収入等 3世帯 (6.2%) |
| 5. 事業収入 5世帯 (10.4%) | |
| 6. その他 0世帯 (0%) | |

※現在の収入については、年金が6割強、給与が約2割、事業収入が約1割である。また、無収入4世帯である。

11-2 現在収入のない方

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 預貯金の取り崩し 9世帯 (18.8%) | 2. 家族からの援助 2世帯 (4.2%) |
| 3. 借り入れ 0世帯 (0%) | 4. その他 0世帯 (0%) |

※預貯金の取り崩しによって収入を補っている9世帯のうち7世帯の収入が年金のみであり、1世帯が年金と事業収入である。残りの1世帯が、無収入である。

ちなみに、無収入の4世帯のうち1世帯のみが、預貯金の取り崩しによって収入を補っており、残りの3世帯は、全く収入源が無い。

12. 1年前に比べて生計はいかがですか

(あてはまるものを一つだけ選んで○をつけてください)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. とても苦しくなった 9世帯 (18.8%) | 2. 少し苦しくなった 16世帯 (33.3%) |
| 3. 同じくらいである 20世帯 (41.7%) | 4. よくなった 0世帯 (0%) |
| 無回答 3世帯 (6.2%) | |

※1年前に比べた生計については、「苦しくなった」(「とても苦しくなった」+「少し苦しくなった」)世帯が約5割、「同じくらいである」が、約4割であり、「よくなった」世帯はない。

13. 1年前に比べて預貯金はいかがですか

(あてはまるものを一つだけ選んで○をつけてください)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 全くなくなった 6世帯 (12.5%) | 2. かなり減った 15世帯 (31.1%) |
| 3. 少し減った 11世帯 (22.9%) | 4. ほとんど変わらない 9世帯 (18.8%) |
| 5. 増えた 1世帯 (2.1%) | 無回答 6世帯 (12.5%) |

※1年前に比べて預貯金については、「減った」(「かなり減った」+「少し減った」)世帯が、5割強で、「全くななくなった」世帯が1割強である。また、「ほとんど変わらない」世帯が2割弱、「増えた」世帯が1世帯のみである。

14. 今後の生計の見通しはいかがですか。

(あてはまるものを一つだけ選んで○をつけてください)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 今より楽になりそうだ 1世帯 (2.1%) | |
| 2. 今とほぼ同程度の暮らしができそうだ 15世帯 (31.1%) | |
| 3. 今より苦しくなりそうだ 19世帯 (39.6%) | |
| 4. わからない 8世帯 (16.7%) | 無回答 5世帯 (10.4%) |

※今後の生計の見通しについては、「今より苦しくなりそうだ」と回答した世帯が、4割弱、「今とほぼ同程度の暮らしができそうだ」が、約3割である。

15. 現在、困っていることは何ですか

(あてはまるものすべてを選んで○をつけてください)

- | | |
|------------------------------|--|
| 1. 家賃の支払いが大変 | 9世帯 (18.8%) |
| 2. 島からの情報が届かない | 6世帯 (12.5%) |
| 3. 生活保護が受けられない | 1世帯 (2.1%) |
| 4. 近くに知り合いがいなくてさびしい | 5世帯 (10.4%) |
| 5. 町会費等が高い | 2世帯 (4.2%) |
| 6. 医療費が高い | 8世帯 (16.7%) |
| 7. 仕事がない | 1世帯 (2.1%) |
| 8. 仕事が不安定で収入が少ない | 3世帯 (6.2%) |
| 9. 自分や家族の健康問題 | 23世帯 (47.9%) |
| 10. 現在住んでいるところにエレベーターがないなど不便 | 1世帯 (2.1%) |
| 11. 未帰島の人への支援が打ち切れ苦しい | 5世帯 (10.4%) |
| 12. 三宅島内に住む所がない | 1世帯 (2.1%) |
| 13. 三宅島内の住宅の修繕費がかかる | 21世帯 (43.8%) |
| 14. 高濃度地区の立ち入り制限 | 6世帯 (12.5%) |
| 15. 三宅島に行くのにお金がかかる | 11世帯 (22.9%) |
| 16. 三宅島行き飛行機の欠航が多い | 9世帯 (18.8%) |
| 17. その他 | 2世帯 (4.2%) (具体的に：島内のどこでもガスが出ているのに、いつまでも高濃度地区にしないでほしい、噴火の現在の情報・呼吸器系の病気の場合どの程度まで生活ができるのか知りたい。) |

※現在、困っていることについては、「自分や家族の健康問題」が5割弱、「三宅島内の住宅の修繕費がかかる」と回答した世帯が4割強、「三宅島に行くのにお金がかかる」が約2割、「家賃の支払いが大変」と「三宅島行き飛行機の欠航が多い」が2割弱、「医療費が高い」が1割強、「島からの情報が届かない」と「高濃度地区の立ち入り制限」、「近くに知り合いがいなくてさびしい」、「未帰島の人への支援が打ち切れ苦しい」が約1割である。

このように、現在直面している主な問題としては、健康問題、経済問題、住宅問題、三宅島内の問題であることがわかる。

C. 帰島に対する考えや要望について

16. 帰島に対する考えについて

1. 帰島しない 17世帯 (35.4%)
2. いずれは帰島したい 25世帯 (52.1%)

※帰島に対する考えについては、「いずれは帰島したい」が過半数である。

無回答 6世帯 (12.5%)

2を選んだ方のみ、次の中であてはまるものに○を付けて下さい。

(%:「いずれ帰島する」意思のある25世帯での割合)

1. 高濃度地区が廃止されれば、帰島する。 5世帯 (20.0%)
2. 村営住宅など島内に住宅が確保できれば、帰島する。 1世帯 (4.0%)
3. 健康状態がよくなれば、帰島する。 13世帯 (52.0%)
4. 仕事や職場が島で見つかけば、帰島する。 2世帯 (8.0%)
5. 子どもの学校の区切りがつけば、帰島する。 1世帯 (4.0%)
6. 十分な医療や福祉サービスが島内で受けられれば、帰島する。 13世帯 (52.0%)
7. その他 6世帯 (24.0%) (具体的に: 母親の介護が終了し、自分の健康が十分残っていれば、帰島する、人口増加の見通しがつけば、帰島する、ガスが止まれば、帰島する、歩行できず全介護。かなわないと思いつつも、帰りたい 等)

※帰島に必要な条件としては、「いずれ帰島する」意思のある25世帯のうち「健康状態がよくなれば、帰島する」と「十分な医療や福祉サービスが島内で受けられれば、帰島する」が約5割、「その他」が2割強、「高濃度地区が廃止されれば、帰島する」が2割である。

ちなみに、「高濃度地区が廃止されれば、帰島する」と回答した5世帯中3世帯(6割)が、避難前に坪田高濃度地区に居住していた世帯である。

17. 今、あなたが、行政に望むことは何ですか。

(あてはまるものすべてを選んで○を付けてください)

1. 子どもの教育費に対する支援 5世帯 (10.4%)
2. 健康保険や年金などの保険料の減免や補助 7世帯 (14.6%)
3. 電気・ガス・上下水道などの基本料金の減免や補助 12世帯 (25.0%)
4. 住宅ローンの利子補給 3世帯 (6.2%)
5. 税の減免 13世帯 (27.1%)
6. 医療費の補助 12世帯 (25.0%)
7. 特別養護老人ホーム「あじさいの里」を増築し入所可能人数を増やす 12世帯 (25.0%)
8. 生活費に対する支援 11世帯 (22.9%)
9. 三宅島内の住宅の補修や再建への補助 18世帯 (37.5%)
10. 家賃の減免や補助 8世帯 (16.7%)
11. 高濃度地区に家がある人たち向けの村営住宅の建設 6世帯 (12.5%)
12. 高濃度地区の廃止 7世帯 (14.6%)
13. 支援策などについてのきめ細かい情報の提供 5世帯 (10.4%)
14. 三宅島への渡航費用の補助 15世帯 (31.2%)
15. 三宅島—羽田間の飛行機の増便 7世帯 (14.6%)
16. 雇用の促進や安定の支援 4世帯 (8.3%)
17. その他 2世帯 (4.2%) (具体的に：私達は帰島しません、在京島民の気持ちとしては、上記すべてが当てはまり、村政の在り方を問いたいと思う、在京中なので、帰島できず、記入いたしません)

※行政に望むことについては、「三宅島内の住宅の補修や再建への補助」と回答した世帯が4割弱、「三宅島への渡航費用の補助」が約3割、「税の減免」が3割弱、「電気・ガス・上下水道などの基本料金の減免や補助」と、「特別養護老人ホーム『あじさいの里』を増築し入所可能人数を増やす」が2割強、「生活費に対する支援」が約2割である。

このように、主に住宅問題と経済問題、福祉への対応を、行政に望んでいることがわかる。

ちなみに、避難前に坪田高濃度地区に居住していた10世帯のうち「三宅島内の住宅の補修や再建への補助」と回答した世帯が6世帯(6割)、「高濃度地区の廃止」が4世帯(4割)である。

最後にどんなことでも結構です。あなたのお考えやお気持ちなど、自由にお書きください。

○12月初旬に第3子誕生予定です。私は、子どもが好きだし、授かりものとしてはうれしいことですが、妊娠がわかった時には、素直に喜ぶことができませんでした。

主人が一人島での生活、子ども2人(喘息あり)と妊婦での生活も精神的にも肉体的にも経済的にも限界ですが、このまま最低でも18年は続くのでしょうか？

○先日の会合に出席できず残念でした。私は、坪田高濃度地区の一員として未だに都の住宅にお世話になっております。

9月から10月の2ヶ月間の高濃度地区の一時滞在が認められましたが、行きませんでした。2ヶ月のために膨大な費用をかける事はできません。

10月5日久々に娘と島に飛行機で行ってまいりました。青々とした空また空気の良さに思わず腹いっぱい深呼吸をしました。ガスはどこに行ったのか。自分の気持ちを疑いました。都会では味わえない良さです。

1日も（高濃度地区を）解除し、島の我が家に住みたいです。今ガスは風の向きによって無い日もあります。高濃度地区の人たちもガスの無い日は、自宅で住めるように認めてほしいです。

三宅島ふるさと再生ネットワークの皆様には、在京島民のため、今後も活躍をお願い致します。

○拝啓 年内余日少なくなり、公私共にご繁忙のここと存じます。

さて、本日は在京者島民の生活状況アンケートを実施していただき、本当にご苦労様でございます。

私共在京者島民の為に平素より格段のご健闘を心より厚く御礼申し上げます。

私自身、老齢によるものでしょうか、体調が優れず病院通いが続き、やや諦めの心境が強くなってまいりました。

○三宅島に戻っても、仕事や医療が乏しく、高齢者には住みづらい。また、食料や燃料の値段が高く生活費がかかりすぎる。

○高濃度地区で補修しても、再度ガスで、また補修が必要になるのでは、不安でならない。最後は、国で宅地ごと買い取ることを要望したい。

○妻が喘息なので、ガスが止まり、住宅が確保できれば帰島したい。

○噴火後、長い間お世話になりました。

○島を離れて早9年目に入りますが、10年一区切りと言いますが、我が身を持っては、一区切りとは思えず、未だに避難中、我ながら良く生きてこれたと自ら感心しております。

島では美容師をしており、仕事を失い都会での再出発、最近はチャレンジあるのみと頑張っていたのも束の間、厳しい現実を嫌という程、思い知らされましたが、島での人と人とのふれあいが都会でも通じたのか、こんな私でも、少しずつ理解して頂けるお客様に囲まれて、どうかお店をつぶす事無く、続けております。

今年は3月に立ち退きのため、お店を移転し、主人が帰島をあきらめ東京で自宅を持ち（ローンですが）、自宅で私一人で島の同じスタイルでお店（美容院）を続けております。

時折、島の方々から島の情報を知らされて細々とやっていますが、明るく笑顔で正直にやっていたら、（皆さん神様は必ずいますよ・・・）。

後は、三宅島の役場の安定を願っております。長いものにまかれろ、臭いものにフタをしろ、島の悪いところ。今回、職を失われなかった方々にはわからないでしょうね。

※ 大田区でのイベント、おつかれ様でした。私はなかなか出かけることが出来ませんが、いつか皆様のお力になればと思っています。

○避難していた母は、完全帰島ならず、亡くなりました。従いまして、娘の私の思うところを記述させていただきました。

※ 三池地区の帰島を坪田の人は一日も早く願っています。

- ※ 航空路、ガスによってあまりにも欠航が多いことは、もっとガスの基準を見直すべきではないでしょうか。
- ※ 坪田地区は、殆どが高齢層です。高齢者に対する対策が欲しいです。帰らばなしの感があります。
- ※ 隔月で、母が守ってきた家の手入れに行くことって、辛いものがあります。
- ◎ 避難していた母は、2007年1月1日死去しました。どんなにか帰りたくて、熱が出ると必ず夢を見ていました。島のお墓に手入れに行く夢でした。
(避難指示)解除後、老人ホームが直ぐに開設していたら母は入所し、娘の私が、1ヶ月に東京と島の半々の生活をしたかったのです。
- ◎ 今となっては、遅いのですが、縁故避難していた者への援助(三宅村の)が無かったことが悔やまれます。しかし、それを補ってくださったのが、ふるさとネットワークでした。佐藤氏とスタッフに感謝でいっぱいです。
- ◎ 義捐金が残っていたのに、一体、どうなっているのでしょうか？
- ◎ 漁協、農協への義捐金も何に使われたのか、組合員であった母の元へは届きませんでした。
- ◎ 村長は、すべて阿古中心すぎるように思います。
- ◎ 帰島できるようになってから、母を4回家に連れて行きました。しかし、船内でトイレに行くには、私がおんぶしていくなど、弱者に対するやさしさはまったくありませんでした。(村政への不満です)
- 帰島したい気持ちはありますが、火山ガスが出ているので、健康問題があります。正直、島に行くと、のどや目に異変を感じます。島に住んでいる人には、悪くて言えませんが、うちの子は、皮膚が弱いし、まだ、小学生なので、連れて帰る気がしません。
自営業でしたが、備品も何もかもなくなりました。これから、どういう形で再開したらよいか、答えが出ません。
人口も半減したし、設備投資の問題、観光客も無い等々。島の住宅も、錆がひどくて、毎年、修理で数十万円かかっています。(白アリなども含めて)深刻ですが、あまり考えすぎるとうつになるので、いいように考えるしかないですね。
とても良い島だったので、環境が良くなったら、また、帰りたいです。
- 帰島しない人に対しても、援助を多方面にわたってしてほしい。
- 病気が悪化するばかりで、島に行っても身内が居ないので。
難病で、帰島しても、今のところ、子どもが退職間近なので、病院通いが出来ないと思います。
- 子供達はみな、東京で世帯を持っているので、よく顔を出してくれるので淋しくないが、三宅島への渡航が思うようにできないので、安定した飛行機の便が増えてほしいと願っています。
ネットワークのみな様には、いつも心やさしい、また、力強いはげまし、ほんとうに感謝しています。ありがとうございます。
- 現在、体の異変が2箇所があり、内視鏡手術などを行い、2ヶ月、3ヶ月以内の検査を続けている故、帰島はできない状況です。
- いつまでも高濃度地区を廃止しないのは、どうしてかわからない。

島に住んでいると風向きによって島中どこでもガスは来る。

高濃度地区を廃止すれば、家を修理して営業ができる。

8年間も営業ができないでいる。

阿古にガスが出て営業しているのに、なんで三池、沖ヶ平だけ営業ができないのか不思議です。

○独居生活なので、健康を害してからは、島での暮らしは無理（身内が島内にいないので）。

年をとってから、医療機関の問題がこんなに重要だとは、身をもって知った。

○健康に不安があるものの、時々島の自宅に帰ることがあり、家をだいぶ修繕しました。

しかしながら、都営住宅を借り、住民票を島から移してしまったので、修繕の費用は、全額自己負担です。

来年、家族の一部が島へ帰りますので、少しでも補助していただけたら、助かります。

○私は、釣りが大好きで三宅島に家を買いました。釣りをする人は、高齢者が多いので、岩場は危ないし、船が港に入ると追い出され、ゆっくりと釣ができませんので、危なくない釣り桟橋を作ってほしいです。お願いいたします。

○私は、父・母と共に三宅島より八王子市に来て約8年がたちました。年に4、5回、屋根・その他を直しに島へ渡ります。

父は、三池に家を持っているが、この9、10月に住んでも良いとの事だが、父が2度目の入院でそれどころではなかった。

会長の佐藤さんはじめ、再生ネットワークの皆さん、お体に注意して、がんばって下さい。

○今年は家の補修、法事などでかなりの費用を使った。

昨年、手術した傷がなかなか回復してこない。喉のつまりを良く起こす。困っているのは、健康上のことのみです。

島の土地、家、墓など島にあるものが、全て負の遺産？になってしまっているのがつらい。（電気、水道代、固定資産税、その他、管理上の費用の支払いが負担になっている）

伊ヶ谷は、大林寺が再築されました。墓の整備なども進み、立派になりました。

檀家の方の集まり、労作（共同作業）も頻繁に行われますが、家施も参加できません。お金を払ってお願いすることになります。（つれあいの先祖の法事、1・3・7年なし。10月にやっとのことで13回忌をいたしました。）

事務局の皆様、ほんとうにご苦労様です。

○要介護の老妻と子供（いろいろな事情で老妻の介護ができない）と3人で、都区内で帰島できず、老（86歳）－老（87歳）介護の生活を続けている。

島へ帰れば、老人でも、いや老人でなければ出来ないこともあり、それを果たせないことを残念に思う。

我々が経てきた長い人生で、先祖から受け継いだ文化や自分で貯えて来た技能や知見などを、我々の後から来る郷土の若い人たちに残すことも、我々老人の果たさねばならない一つの務めであり、老人力の活用も考え、高齢者の帰島も促進すべきと考える。

○少子高齢化、過疎化は、日本の離島の現状である。自然災害も全国各地で発生してい

る。

「三宅島」をよりよくするためには、外に頼る姿勢を無くし、島民の頭から「ご支援」の観念を取り去って、小さくとも自らの創意工夫をもって進むことが大切であると思う。

○強制疎開したのに、理由があつて帰島できないのに、帰島できるまで無条件で援助してほしい。

帰島しない場合でも、子や孫が帰島した場合どうなのか（どのようにアンケートに回答すればよいのか）

問17については、全部あてはまるのではなく、個人の責任でできることと、できないことがある。⑩（「雇用の促進や安定の支援」）がかなえば必要の無いこともある。

⑥（「医療費の補助」）⑧（「生活費に対する支援」）⑨（「三宅島内の住宅の補修や再建への補助」）⑪（「高濃度地区に家がある人たち向けの村営住宅の建設」）⑭（「三宅島への渡航費用の補助」）は、限定的でよいと思う。

○きれいな島に帰りたくない人はいない。これからますます、老人が帰れなくなるわけで、島が以前のようになることを願う。

○すぐにでも、三宅島に帰り住みたいのですが、自分の健康状態とお世話になっている子供達の仕事の事情で帰島できないでいる。

ネットワークには、お世話になりまして感謝申し上げます。

○東京に生活基盤をおいているが、三宅島の住宅の管理は欠かせず、定期的に帰宅している。

どちらの問題も重要であり、考え、対策しなくてはならず、かといってスパッと割り切れず、終了が見えず、どちらにも落ち着くことの出来ない不安定な状態です。

親が三宅島に帰宅する希望を強く持っても、両親の健康上の問題、経済的に支える必要もあり、当方も仕事の事情で、東京を離れることは出来ない状況です。

・三宅島の住宅の維持が、経済的にも精神的にも負担となっている。修繕費（雨漏りしたことによる修理、シロアリ発生した為、駆除と修理、外壁の修理・塗装、屋根の塗装）にかなりの出費をし、今後も同様でしょう。

毎日の水道料、電気の基本料金の支出（使用月のみの請求はできないということで毎月支出している）、固定資産税および地震保険料（建物・家財）の年間の費用にかなりの負担ですが、三宅島の場合、保険加入続けないと不安。

住宅機材、ボイラー等も時々使用しないと故障し、帰宅するたびに今度は無事にお風呂の使用が出来るのかいつも心配している。

・諸々のことは、到底紙面に書ききれません。また、書き上げることも難しいことです。しかし、なんとかなっているし、また、なんとかしなくてはと思い、できることをコツコツとこなしている状況です。前向きに考えようといつも思っております。

○避難解除になってからも、島に行きたくてもあまり行けないのが現状です。

東海汽船の運賃を島民割引にしてくれる等していただければと元島民の願いです。

子供達も大人になり、島で過ごしていた事を忘れない為にも、少しでも安い料金で島に行ける事を望みます。